

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人岐阜大学附属病院
岩

岐阜大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	24人
--------	-----

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	331人	17人	336.1人	看護補助者	30人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	2人	11.5人	理学療法士	9人	臨床検査技師	41人
薬剤師	29人	0人	29.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	13人	0人	13.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	549人	31人	537.5人	臨床工学士	9人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	120人
管理栄養士	5人	2人	6.5人	診療放射線技師	38人	その他の職員	25人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	481.1人	8.5人	489.6人
1日当たりの平均外来患者数	1,198.5人	67.0人	1,265.5人
1日当たりの平均調剤数			764.4剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

先進医療の種類	取扱患者数
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	94人
インプラント義歯	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	34人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	46人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	21人
・全身性エリテマトーデス	160人	・重症急性膵炎	18人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	57人
・再生不良性貧血	20人	・混合性結合組織病	26人
・サルコイドーシス	92人	・原発性免疫不全症候群	15人
・筋萎縮性側索硬化症	48人	・特発性間質性肺炎	10人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	274人	・網膜色素変性症	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	40人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	13人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	106人	・神経線維腫症	21人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガール病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	21人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・クローン病	70人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患	114人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8人
・後縦靭帯骨化症	109人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	47人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	12人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症	15人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害	34人
(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。		合計	1651人

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	新規デキサメタゾン含有口腔内溶解フィルム製剤の制吐薬としての臨床評価に関する研究	伊藤 善規	薬剤部	2,100,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
2	頭頸部癌の放射線化学療法による口内炎に対するポラプレジンの予防効果に関する研究	石原 正志	薬剤部	480,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
3	救急領域における血清シスタチンCを用いた抗菌薬投与設計への応用に関する研究	鈴木 昭夫	薬剤部	500,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
4	非代償性肝硬変患者におけるシスタチンCを用いた抗菌薬投与設計の確立	山内 恵太	薬剤部	540,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
5	術前科学療法後脂肪性肝炎に対する抗ヒトTNF α モノクローナル抗体療法の開発	山田 卓也	高度先進外科	130,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
6	肺気腫症に対する肺切除後の残存肺組織再生に関する実験的検討	岩田 尚	第一外科	3,900,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
7	肺気腫に対する伸縮性コラーゲンのラッピング法の開発	白橋 幸洋	第一外科	1,300,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
8	骨髄由来平滑筋細胞を標的とした病的血管リモデリングに対する遺伝子治療	松野 幸博	第一外科	3,120,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
9	カプトムシから単離・改変された抗菌ペプチドによる人工血管感染制御	名知 祥	第一外科	1,560,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
10	MRSA DNAワクチンによる人工血管感染予防	水野 吉雅	第一外科	2,080,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
11	成人間生体部分肝移植におけるうっ血を伴うグラフト肝再生の改善	木村 真樹	第一外科	2,210,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
12	超高耐久性を有する医療用刃物の開発 (文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業【発展型】)	竹村 博文	高度先進外科	922,315 円	補委 財団法人岐阜県研究開発財団
13	耐穿刺性・潤滑性を有するカテーテルの開発 (文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業【発展型】)	竹村 博文	高度先進外科	940,903 円	補委 財団法人岐阜県研究開発財団
14	脳内アミノ酸バランス異常による認知症発症機構の解明	中川 敏幸	神経生物	2,800,000 円	補委 文部科学省
15	モノづくりとITを活用した高度医療機器の開発 -歯科領域-	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	14,509,091 円	補委 財団法人岐阜県研究開発財団
16	計算解剖モデルの構築 -正常人体における計算解剖モデルの構築-	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	17,800,000 円	補委 文部科学省
17	医療画像(乳腺超音波画像)のためのコンピュータ支援診断(CAD)システムの開発	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	2,000,000 円	補委 アロカ株式会社
18	デジタル画像処理によるがん診断支援システムの開発と利用に関する研究-体幹部画像における異常陰影の自動検出システムの開発-	藤田 廣志	知能イメージ情報分野	1,100,000 円	補委 厚生労働省
19	遺伝性多発性外骨腫の実態把握と遺伝子多型に関する基礎研究	清水 克時	整形外科	15,000,000 円	補委 厚生労働省
22	コンドロイチン硫酸合成酵素群の遺伝子異常と変形性関節症の発症に関する基礎研究	瀧上 伊織	整形外科	500,000 円	補委 岐阜県医師会
23	上肢・下肢動作支援ロボット(アクティブギプス)の開発	清水 克時	整形外科	1,192,393 円	補委 (財)岐阜県研究開発財団
24	上肢・下肢動作支援ロボット(アクティブギプス)の開発	西本 裕	整形外科	1,039,385 円	補委 (財)岐阜県研究開発財団
25	非結核性抗酸菌皮膚感染症に対する抗菌薬選択法の確立	清島 真理子	医学部附属病院皮膚科	500,000 円	補委 岐阜県医師会
26	高齢者における褥瘡・皮膚障害等に対する効果的予防・治療法開発に関する研究	加納 宏行	医学部附属病院皮膚科	1,000,000 円	補委 厚生労働省長寿医療研究開発費
27	健康成人の疲労度の科学的評価とミツバチ製品の疲労に対する効果	渋谷 佳直	医学部附属病院皮膚科	4,000,000 円	補委 山田養蜂場 みつばち研究助成金
28	天疱瘡水疱形成におけるデスマグレイン3とp120カテニンの結合性調節分子の固定	周 円	医学部附属病院皮膚科	500,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
29	緊急医療体制の構築に資する車載ITシステムの導入における課題抽出・分析のための調査研究	小倉 真治	救急災害	160,000,000 円	補委 経済産業省
30	インベーションシステム整備事業、モノづくり技術とITを活用した高度医療機器の開発、敗血症モニタの開発	白井 邦博	救急災害	8,407,424 円	補委 岐阜県研究開発財団 文部科学省
31	脳虚血への自家移植を目指したヒト脂肪組織由来幹細胞の分離培養法の確立	吉村 紳一	脳神経外科	13,230,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
32	超急性期脳梗塞に対する血管内救済療法の効果に関する全国的前向き登録研究	吉村 紳一	脳神経外科	1,000,000 円	補委 財団法人先進医療研究振興財団
33	アレルギー発症の遺伝環境相互関係の分子遺伝学的蛋白構造学的解明と臨床展開	近藤 直実	小児科	1,690,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
34	ケトン体代謝異常症の分子病態とその原因酵素遺伝子の発現調節機構の解明	深尾 敏幸	小児科	1,690,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
35	小脳変性を来す先天性遺伝子修復異常症の病態、治療法に関する研究	折居 建治	小児科	1,430,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
36	抗体産生不全症における新たな病態の解明と臨床像との関連	金子 英雄	小児科	1,170,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金

37	新規に発見されたインターロイキン18阻害剤等によるアレルギー免疫病態解析治療開発	加藤 善一郎	小児科	1,690,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
38	構造生物学的手法による自然免疫及びIL-18機能制御と新規免疫調節薬の開発	大西 秀典	小児科	780,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
39	アレルギー・自己免疫疾患治療開発を目指したIL-18レセプター複合体構造解析	木村 豪	小児科	1,040,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
40	MRP1モジュレーターとしてのロイコトリエン受容体拮抗薬の作用機序と臨床応用	小関 道夫	小児科	1,950,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
41	構造生物学的手法を用いた大豆アレルギーの病態の解明	森田 秀行	小児科	1,170,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
42	食物アレルギーの発症要因の解明および耐性化に関する研究	近藤 直実	小児科	2,000,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
43	アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	近藤 直実	小児科	1,000,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
44	母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	近藤 直実	小児科	500,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
45	原発性免疫不全症候群に関する調査研究	近藤 直実	小児科	2,000,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
46	先天性ケトン体代謝異常症(β-ケトチオラーゼ欠損症、サクシニル-CoA3-ケト酸CoAトランスフェラーゼ欠損症)の発症形態と患者数の把握	深尾 敏幸	小児科	19,500,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
47	インターロイキン受容体関連キナーゼ4(IRAK4)欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療法開発に関する研究	大西 秀典	小児科	17,550,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
48	Bloom症候群とその類縁疾患の実態調査、早期診断法の確立に関する研究	金子 英雄	小児科	19,500,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
49	気管支喘息のテーラーメイド的予知に基づく発症予防法とQOL調査票を導入した独自の評価法の確立	近藤 直実	小児科	7,150,000 円	✓	補委	独立行政法人環境保全機構
50	テロの可能性のある病原体等の早期検知・迅速診断法の開発とその評価法の確立に関する研究	江崎 孝行	病原体制御	3,930,000 円	✓	補委	厚生労働省
51	科学研究費: 裁定委員会に高度病原体の新分類法を提案するための根拠とする遺伝情報収集	江崎 孝行	病原体制御	2,730,000 円	✓	補委	文部科学省
52	迅速肺炎診断を目的としたカセット式簡易診断機器の開発	江崎 孝行	病原体制御	6,317,469 円	✓	補委	文部科学省
53	食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成	江崎 孝行	病原体制御	6,977,210 円	✓	補委	文部科学省
54	National Bioresource Project: 病原微生物の収集・保存・提供体制整備事業	江崎 孝行	病原体制御	3,800,000 円	✓	補委	文部科学省
55	パイレメ利用株の合理的な安全性評価手法の開発	江崎 孝行	病原体制御	9,900,350 円	✓	補委	NEDO
56	がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	森脇 久隆	消化器病態学	15,000,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
57	核内受容体RXRを分子標的とした合成レチノイド併用肝発癌化学予防に関する研究	森脇 久隆 清水 雅仁	消化器病態学	1,100,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
58	転写制御因子HNF-4を応用した肝再生療法の確立と肝不全治療システムの構築	永木 正仁 大澤 陽介	消化器病態学	1,400,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
59	次世代型電子カルテシステムによる癌診療工程のプロセス解析とその最適化	白鳥 義宗 森脇 久隆	消化器病態学	900,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
60	肥満に関連した分子異常を標的とした消化器発癌予防に関する研究	清水 雅仁	消化器病態学	1,600,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
61	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	森脇 久隆	消化器病態学	400,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
62	肝がんの新規治療法にかんする研究	森脇 久隆	消化器病態学	2,000,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
63	ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す研究	森脇 久隆	消化器病態学	2,500,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
64	肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	森脇 久隆	消化器病態学	1,000,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
65	がん化学予防の研究開発とその臨床応用に関する研究	清水 雅仁	消化器病態学	2,500,000 円	✓	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
66	RXRα 遺伝子改変マウスを用いた非環式レチノイド標的遺伝子の解析	森脇 久隆	消化器病態学	1,000,000 円	✓	補委	興和(株) 受託研究費
67	肝疾患の分子病態解明に基づく新規治療・予防法の確立	森脇 久隆	消化器病態学	110,000 円	✓	補委	理化学研究所 共同研究
68	核レチノイド受容体蛋白を分子標的としたがん化学予防に関する研究	森脇 久隆	消化器病態学	150,000 円	✓	補委	脂溶性ビタミン
69	口腔癌における血漿中のメチル化異常遺伝子断片の検索と臨床病態との相関	山下 知巳	口腔病態学 分野	900,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
70	ヒト歯胚組織幹細胞におけるオステオカルシン発現と血管内皮増殖因子誘導機構の解析	畠山 大二郎	口腔病態学 分野	1,000,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
71	ヒト歯由来組織幹細胞のステムネス性とiPS細胞誘導効率の検証	柴田 敏之	口腔病態学 分野	1,500,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
72	4NQO誘発ラット舌発癌モデルにおける遺伝子変異機構の解析	牧田 浩樹	口腔病態学 分野	1,100,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
73	東南アジアの噛みタバコ習慣が口腔粘膜の遺伝子メチル化異常に及ぼす影響	柴田 敏之	口腔病態学 分野	2,500,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金
74	ヒト歯髓細胞から良質なiPS細胞株を効率良く誘導するための基礎的検討	玉置 也剛	口腔病態学 分野	1,470,000 円	✓	補委	文部科学省 科学研究費補助金

75	4NQO誘発ラット舌発癌モデルによる早期メチル化異常と脱メチル化による影響の解析	加藤 恵三	口腔病態学分野	1,200,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
76	4NQO誘発ラット舌癌モデルにおけるヒストン修飾の解析	米本 和弘	口腔病態学分野	1,200,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
77	動物由来物質・因子を使わない安全なヒト歯髄由来幹細胞の樹立とiPS細胞化の検討	川口 知子	口腔病態学分野	1,200,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
78	ヒト歯髄由来組織幹細胞のステムネス性維持とiPS細胞の良質化	柴田 敏之	口腔病態学分野	4,900,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
79	冠動脈不安定プラーク検出のための新しい三次元画像構築装置の開発と臨床応用	川崎 雅規	第二内科	1,170,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
80	内因性GLP-1の虚血心筋保護作用の分子メカニズム解明とその臨床的重要性の研究	服部 有博	第二内科	1,950,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
81	エリスロポイエチンによるCOPD再生治療	大野 康	呼吸病態学	2,470,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
82	プロテオミクスによる筋無力症・筋炎特異的自己抗体の検索とバイオマーカーの確立	犬塚 貴	神経内科・老年内科	1,000,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
83	多発性硬化症における大脳膜蛋白に対する新規自己抗体の検索とバイオマーカーの確立	木村 暁夫	神経内科・老年内科	1,400,000 円	補委	文部科学省科学研究費補助金
84	フール病(特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症)の分子病態の解明	保住 功	神経内科・老年内科	12,700,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
85	プロテオーム解析を用いた高齢認知症患者における大脳白質病変と抗血管内皮細胞抗体の関連性に関する研究	木村 暁夫	神経内科・老年内科	3,500,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
86	重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	犬塚 貴	神経内科・老年内科	1,000,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
87	スモンに関する研究	犬塚 貴	神経内科・老年内科	700,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
88	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	犬塚 貴	神経内科・老年内科	1,000,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
89	脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	犬塚 貴	神経内科・老年内科	800,000 円	補委	厚生労働省科学研究補助金
90	運動療法によるβアミロイド凝集抑制効果の分子メカニズムの解明と認知症予防法への応用	林 祐一	神経内科・老年内科	1,400,000 円	補委	三井住友海上福祉財団研究助成
91	慢性肝障害におけるクッパー細胞の役割に関する研究	大澤陽介	病態情報解析医学	2,080,000 円	補委	文部科学省
92	自然免疫により調節される肝再生・抗アポトーシス機構についての研究	大澤陽介	病態情報解析医学	1,000,000 円	補委	先進医薬研究
93	肝障害におけるトリプトファン代謝を中心とした免疫学病態の解明	大瀧博文	病態情報解析医学	700,000 円	補委	文部科学省
94	スタチン製剤による筋障害予防のためのスクリーニング法と遺伝子解析	清島 満	病態情報解析医学	6,500,000 円	補委	文部科学省
95	オートファジー制御による新しい心不全治療法の開発	金森寛充	病態情報解析医学	1,560,000 円	補委	文部科学省
96	RA患者における生物製剤治療の二次無効症例に対する臨床検査医学的研究	竹村正男	検査部	550,000 円	補委	文部科学省
97	3デスラMRIと人工知能を用いた慢性肝疾患診断のコンピュータ支援診断に関する研究	加藤博基	放射線科	2,230,000 円	補委	日本学術振興会
98	MRIを用いた肝硬変症のコンピュータ支援診断に関する研究	加藤博基	放射線科	250,000 円	補委	日本医学放射線学会

小計24
合計98

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
1	International Journal of Antimicrobial Agent (35巻 507-510頁, 2010年)	Significance of individual adjustment of initial loading dosage of teicoplanin based on population pharmacokinetics.	丹羽隆	薬剤部
2	International Journal of Cancer (127巻 1984-1990頁, 2010年)	Polaprezinc prevents oral mucositis associated with radiochemotherapy in patients with head and neck cancer.	石原正志	薬剤部
3	Journal of Pharmacy & Pharmacology (62巻901-907頁, 2010年)	Usefulness of serum cystatin C to determine the dose of vancomycin in critically ill patients.	鈴木昭夫	薬剤部
4	Supportive Care in Cancer (18巻1531-1538頁, 2010年)	Pharmaceutical interventions facilitate premedication and prevent opioid-induced constipation and emesis in cancer patients.	石原正志	薬剤部
5	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol	A double nucleotide insertion-induced frame-shift mutation of the androgen receptor gene in a familial complete androgen insensitivity syndrome	Rong HL	産科婦人科
6	Exp Ther Med	Role of inhibitor of DNA binding-1 protein is related to angiogenesis in the tumor advancement of uterine endometrial cancers	Maw MK	産科婦人科
7	Curr Opin Obstet Gynecol	Use of monoclonal antibodies in the treatment of ovarian cancer	Morishige K	産科婦人科
8	Gynecol Endocrinol	GnRH receptor and peritoneal plasmin activity	Suzuki N	産科婦人科
9	Gynecol Endocrinol	Antiproliferative effect of the adiponectin on rat uterine leiomyoma ELT-3 cells	Morishige K-I	産科婦人科
10	J Obstet Gynaecol	HMG-CoA reductase inhibitor lovastatin causes reversible cytoskeleton perturbation by RhoA signalling suppression in peritoneal cell line Met5A	Suzuki N	産科婦人科
11	Mol Cancer Ther	Vascular endothelial growth factor is a promising therapeutic target for the treatment of clear cell carcinoma of the ovary	Morishige K	産科婦人科
12	医療と社会	大阪府泉南地域における選択型実験法を用いた妊婦の分娩施設選択に影響する要因分析	森重健一郎	産科婦人科
13	日本冠疾患学会雑誌16(2)	左肺癌と高度内頸動脈狭窄を合併した左冠動脈主幹部病変に対して一期的に冠動脈バイパス術および左肺癌手術を施行した1例	石田成吏洋	第一外科
14	Journal of Surgical Research 162(2)	Suppression of right ventricular hypertrophy after extensive pulmonary resection in rats by granulocyte colony-stimulating factor	Matsumoto Shinsuke	第一外科
15	日本心臓血管外科学会雑誌39(6)	左椎骨動脈大動脈起始を伴う大動脈解離に対して別個の1本グラフトで弓部分枝を島状再建した上行弓部置換術の1例	石田成吏洋	第一外科
16	胸部外科63(13)	橈骨動脈グラフト採取のコツ	竹村博文	高度先進外科
17	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery39(3)	Effects of omentopexy combined with granulocyte colony-stimulating factor in a rabbit heart model	Ishida Narihiro	第一外科
18	Autophagy 6(3)	Autophagy impairment stimulates PS1 expression and gamma-secretase activity	Kazunori Ohta	神経生物
19	Journal of Biomedical Optics	Detection of retinal nerve fiber layer defects on retinal fundus images for early diagnosis of glaucoma	C.Muramatsu, Y.Hayashi, A.Sawada, Y.Hatanaka, T.Hara, T.Yamamoto, and H.Fujita	知能イメージ情報分野

20	Comparison of contour modeling and pixel classification methods, Computer Methods and Programs in Biomedicine	Automated segmentation of optic disc region on retinal fundus photographs	C.Muramatsu, T.Nakagawa, A.Sawada, Y.Hatanaka, T.Hara, T.Yamamoto, and H.Fujita	知能イメージ情報分野
21	J Bone Miner Metab	Analysis of bone mineral density distribution at trabecular bones in thoracic and lumbar vertebrae using X-ray CT images.	T.Hayashi, H.Chen, K.Miyamoto, X.Zhou, T.Hara, R.Yokoyama, M.Kanematsu, H.Hoshi, and H.Fujita	知能イメージ情報分野
22	Int Ophthalmol.	Case of lacrimal gland inflammation associated with ulcerative colitis.	望月清文	眼科
23	Jpn J Ophthalmol	Effects of timolol-related ophthalmic solutions on cultured human conjunctival cells.	川瀬和秀	眼科学
24	Clin Ophthalmol.	Case of endogenous endophthalmitis caused by <i>Streptococcus equisimilis</i> .	末森晋典	眼科
25	J Biomed Opt	Detection of retinal nerve fiber layer defects on retinal fundus images for early diagnosis of glaucoma.	澤田 明	眼科学
26	J Pharmacol Exp Ther.	A novel calpain inhibitor, ((1S)-1((((1S)-1-benzyl-3-cyclopylamino-2,3-di-oxopropyl) amino) carbonyl)-3- methylbutyl) carbamic acid 5-methoxy-3-oxapentyl ester (SNJ-1945), reduces murine retinal cell death in vitro and in vivo.	末森晋典	眼科
27	Jpn J Ophthalmol	Target intraocular pressure for stability of visual field loss progression in normal-tension glaucoma.	澤田 明	眼科学
28	Mol Vis	Analysis of microsatellite polymorphisms within the GLC1F locus in Japanese patients with normal tension glaucoma.	川瀬和秀	眼科学
29	Clin Ophthalmol	Case of endophthalmitis following intravitreal injections of bevacizumab.	澤田 明	眼科学
30	Ophthalmology	Genome-wide association study of normal tension glaucoma: common variants in SRBD1 and ELOVL5 contribute to disease	山本哲也	眼科学
31	Mol Vis	Genotyping HLA-DRB1 and HLA-DQB1 alleles in Japanese patients with normal tension glaucoma.	川瀬和秀	眼科学
32	J Glaucoma.	The Ahmed Glaucoma Valve in patients with and without neovascular glaucoma.	石田恭子	眼科学
33	Hum Mol Genet	Overexpression of optineurin E50K disrupts Rab8 interaction and leads to a progressive retinal degeneration in mice.	川瀬和秀	眼科学
34	Ophthalmology	Association between genetic polymorphisms of adrenergic receptor and diurnal intraocular pressure in Japanese normal-tension glaucoma.	川瀬和秀	眼科学
35	Spine (Phila Pa 1976).	Lumbar axial loading device alters lumbar sagittal alignment differently from upright standing position: a computed tomography	Hioki A	Orthopaedic Surgery
36	Journal of Spinal Disorders and Techniques	Test-Retest Repeatability of Lumbar Sagittal Alignment and Disc Height Measurements with or without Axial Loading: A Computed Tomography Study	Hioki A	Orthopaedic Surgery
37	Int J Cancer.	EWS/Fli-1 chimeric fusion gene upregulates vascular endothelial growth factor-A	Nagano A	Orthopaedic Surgery

38	Int J Cancer.	Synthetic siRNA targeting the breakpoint of EWS/Fli-1 inhibits growth of Ewing sarcoma xenografts in a mouse model.	Takigami I	Orthopaedic Surgery
39	J Orthop Trauma.	Acetabular perforation after medial migration of the helical blade through the femoral head after treatment of an unstable trochanteric fracture with Proximal Femoral Nail Antirotation (PFNA): a case report	Takigami I	Orthopaedic Surgery
40	Arch Orthop Trauma Surg.	Two-stage revision surgery for hip prosthesis infection using antibiotic-loaded porous hydroxyapatite blocks	Takigami I	Orthopaedic Surgery
41	J shoulder elbow surg.	Nonunion of a first rib fracture causing thoracic outlet syndrome in a basketball player: A case report	Terabayashi N	Orthopaedic Surgery
42	J Orthop Surg Res	Functional bracing for delayed union of a femur fracture associated with Paget's disease of the bone in an Asian patient: a case report.	Takigami I	Orthopaedic Surgery
43	Am J Sports Med	Characteristics of Upper Extremity Injuries Sustained by Falling During Snowboarding: A Study of 1918 Cases.	Yamauchi K	Orthopaedic Surgery
44	J Orth Sci	Orthopedic research in the final year of the Bone and Joint Decade.	Shimizu K	Orthopaedic Surgery
45	Acta Derm Venereol (2010)	Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type, possibly arising from chronic Epstein-Barr virus infection	Seishima M.	皮膚科
46	Acta Derm Venereol (2010)	Photoleukomelanoderma possibly caused by etretinate in a patient with psoriasis	Seishima M.	皮膚科
47	Mod Rheumatol (2010)	Pericarditis and pleuritis associated with human parvovirus B19 infection in a systemic lupus erythematosus patient	Seishima M.	皮膚科
48	J Dermatol (2010)	A new non-invasive method for evaluation of the stratum corneum structure in diseases with abnormal keratinization by immunofluorescence microscopy of desmoglein 1 distribution in tape-stripped sample	Oyama Z.	皮膚科
49	Int J Dermatol (2010)	Overexpression of monocyte chemoattractant protein-1(MCP-1) in the overlying epidermis of multicentric reticulohistiocytosis lesions: a case report	Iwata H.	皮膚科
50	Br J Dermatol (2010)	Interlukin-17 expression in the urticarial rash of familial cold autoinflammatory syndrome: a case report	Iwata H.	皮膚科
51	Mod Rheumatol (2010)	Multiple dermatofibromas in a patient with systemic lupus erythematosus and Sjögren's syndrome	Fujisawa T.	皮膚科
52	J Dermatol (2010)	Subcutaneous phaeohyphomycosis caused by <i>Exophiala jeanselmei</i> in collagen disease patient	Nomura M.	皮膚科
53	日本皮膚科学会誌 (2010)	重症ブドウ球菌・溶連菌感染症:重要な皮膚感染症・性感染症	清島真理子	皮膚科
54	皮膚科の臨床 (2010)	原発巣が完全消退したと思われる悪性黒色腫の2例	岩田浩明	皮膚科
55	臨床皮膚科 (2010)	皮膚症状がきっかけとなり診断に至った多発性骨髄腫	藤澤智美	皮膚科
56	皮膚科の臨床 (2010)	塩酸イリノテカンが有効であった進行期有棘細胞癌の1例	渋谷佳直	皮膚科
57	皮膚科の臨床 (2010)	マムシ生食後に発症したcreeping diseaseの2例	佐藤三佳	皮膚科
58	Visual Dermatology (2010)	胃梅毒を合併した第2期梅毒の1例	佐藤三佳	皮膚科
59	皮膚科の臨床 (2010)	型別判定を試みたツツガムシ病の3例	村瀬香奈	皮膚科
60	皮膚科の臨床 (2010)	筋周皮腫 (Myopericytoma)の1例	村瀬香奈	皮膚科
61	皮膚科の臨床 (2010)	Dermatosis papulosa albaの3例	奥村優香	皮膚科
62	皮膚科の臨床 (2010)	Metastatic tuberculous abscessから診断に至った肺結核	渡邊華奈	皮膚科
63	日本救急医学会雑誌	頸部仮性動脈瘤破裂により気道閉塞を来した von Recklinghausen病の1症例	竹田啓	救急災害

64	日本腹部救急医学会雑誌	救命救急センター長の立場から -腹部救急診療の問題点と外科系救急医の育成-	白井邦博	救急災害
65	東海産科婦人科学学会雑誌	救急医療と周産期救急医療の連携	小倉真治	救急災害
66	日本臨床救急医学会雑誌	外傷患者におけるICTの介入前後での抗菌投与の比較検討	白井邦博	救急災害
67	日本腹部救急医学会雑誌	救命救急センター長の立場から -腹部救急診療の問題点と外科系救急医の育成-	白井邦博	救急災害
68	日本救急医学会雑誌	妊娠39週に脳梗塞を発症し血栓溶解療法を行った1例	山田法顕	救急災害
69	Journal of pharmacy and Pharmacology	Usefulness of serum cystatin C to determine the dose of vancomycin in critically ill patients	Shiho Nakano	救急災害
70	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR MEDICINE	Antithrombin III reduces collagen-stimulated graunule secretion of PDGF-AB and the release of soluble CD40ligand from human platelets	Tomoaki Doi	救急災害
71	Coagulation & Inflammation	血小板に対するアンチトロンビンⅢの抗炎症作用の分子機序の解析:血小板に対する直接作用の可能性について	土井智章	救急災害
72	8th Asian congress of Meirogical Surgeons ACNS 2010	An experiment of using an IC card entered patient's medical date for prehospital Title of Presentation: dispatch and treatment on the area of around minokamo city in Japan	Yamada Mikito	救急災害
73	脳外誌 2010年;19巻:504-509	手術用顕微鏡の構造と特性-脳神経外科医に必要な知識-	岩間 亨	脳神経外科学
74	脳外誌 2010年;19巻:681-688.	頭蓋咽頭腫の経頭蓋アプローチ	岩間 亨	脳神経外科学
75	脳外誌 2010年;19巻:817-822	Posterior interhemispheric approach(occipital transtentorial approach: OTA)	岩間 亨	脳神経外科学
76	脳神経外科速報 2010年;20巻:682-686	主幹動脈急性閉塞症治療の最新動向	吉村紳一	脳神経外科学
77	機能的脳神経外科 2010年;49巻:120-124	GPi-DBSが奏功したハンチントン病の1例	矢野大仁	脳神経外科学
78	Neurol Med Chir(Tokyo). 2010; 50: 956-959.	Superficial temporal artery to middle cerebral artery double bypass via a small craniotomy - Technical Note-	Yoshimura S	脳神経外科学
79	Neurosurgery. 2010; 67: E305.	Demonstration of intraluminal thrombus in the carotid artery by optical coherence tomography: technical case report.	Yoshimura S	脳神経外科学
80	PLoS One. 2010; 5: e15178.	Phosphodiesterase-III inhibitor prevents hemorrhagic transformation induced by focal cerebral ischemia in mice treated with tPA.	Ishiguro M	脳神経外科
81	Neurol Med Chir (Tokyo). 2010; 50: 7-11.	Convulsion during intra-arterial infusion of fasudil hydrochloride for the treatment of cerebral vasospasm following subarachnoid hemorrhage.	Enomoto Y	脳神経外科学
82	Atherosclerosis. 2010; 209: 415-421.	Thromboxane A2 promotes soluble CD40 ligand release from human platelets.	Enomoto Y	脳神経外科学
83	Atherosclerosis. 2010; 208: 161-166.	Prediction of silent ischemic lesions after carotid artery stenting using integrated backscatter ultrasound and magnetic resonance imaging.	Yamada K	脳神経外科
84	Hypertens Res. 2010; 33: 703-707.	Neutrophil elastase inhibitor prevents ischemic brain damage via reduction of vasogenic edema.	Ikegame Y	脳神経外科
85	Mol Med Rep	CpG islands around exon 1 in the succinyl-CoA:3-ketoacid CoA transferase (SCOT) gene are hypomethylated even in human and mouse hepatic tissues where SCOT gene expression is completely suppressed.	深尾 敏幸	小児科
86	Mol Genet Metab	A common mutation, R208X, identified in Vietnamese patients with mitochondrial acetoacetyl-CoA thiolase (T2) deficiency	深尾 敏幸	小児科
87	Thromb Res	A family having type 2B von Willebrand disease with an R1306W mutation: Severe thrombocytopenia leads to the normalization of high molecular weight multimers.	小関 道夫	小児科

88	J Clin Neurosci	Reversible cerebrospinal fluid edema and porencephalic cyst, a rare complication of ventricular catheter: Case report and literature review.	小関 道夫	小児科
89	Biomol NMR Assign	(1)H, (13)C, and(15)N resonance assignment of the TIR domain of human MyD88.	大西 秀典	小児科
90	Tohoku J Exp Med	Carnitine Palmitoyltransferase 2 Deficiency: The Time-Course of Blood and Urinary Acylcarnitine Levels during Initial L-Carnitine	堀 友博	小児科
91	Birth Defects Res A Clin Mol Teratol	Interstitial deletion of 18q: comparative genomic hybridization array analysis of 46, XX, del(18)(q21. 2. q21. 33).	加藤 善一郎	小児科
92	Brain Dev	Prediction of the pathogenesis of the mutation in MeCP2 C-terminal domain.	加藤 善一郎	小児科
93	Tohoku J Exp Med	High regression rate of coronary aneurysms developed in patients with immune globulin-resistant Kawasaki disease treated with steroid pulse therapy.	安達 真也	小児科
94	Mol Genet Metab	A novel mutation(c.951C>T)in an exonic splicing enhancer results in exon 10 skipping in the human mitochondrial acetoacetyl-CoA thiolase gene.	深尾 敏幸	小児科
95	Int J Mol Med	Mutation in the Q(28)SDD(31)SD site, but not in the two SQ sites of the survival of motor neuron protein, affects its foci formation.	青木 雄介	小児科
96	Experimental and Therapeutic Medicine	Relationship between the benefits of suplatast tosilate, a Th2 cytokine inhibitor, and gene polymorphisms in children with bronchial asthma.	松井 永子	小児科
97	J Invest Allerg Clin Immunol	Efficacy of the Slow Dose-up Method for Specific Oral Tolerance Induction in Children With Cow's Milk Allergy: Comparison With Reported Protocols.	金子 英雄	小児科
98	Mol Immunol	The autoimmune TCR-Ob. 2F3 can bind to MBP85-99/HLA-DR2 having an unconventional mode as in TCR-Ob. 1A12.	加藤 善一郎	小児科
99	Pediatr Radiol	Developmental changes of radiological findings in Fukuyama-type congenital muscular dystrophy.	加藤 善一郎	小児科
100	Mol Genet Metab	Validation of disaccharide composition derived from dermatan sulfate and heparan sulfate in mucopolysaccharidoses and mucopolysaccharidoses II and III by tandem mass spectrometry.	戸松 俊治	小児科
101	J Inherit Metab	Dermatan sulfate and heparan sulfate as a biomarker for mucopolysaccharidosis I.	戸松 俊治	小児科
102	J Obstet Gynaecol Res	Brain infarction localized on left inferior temporal gyrus of presumed fetal onset.	山本 裕	小児科
103	J Inherit Metab Dis	A neonatal-onset succinyl-CoA:3-ketoacid CoA transferase (SCOT)-deficient patient with T435N and c.658-666dupAACGTGATT p.N220_I222dup mutations in the OXCT1 gene.	深尾 敏幸	小児科
104	Eur J Pediatr	Adenovirus infection mimics the cerebellitis caused by rotavirus infection.	加藤 善一郎	小児科
105	Int J Mol Med	Genetic variations in MyD88 adaptor-like are associated with atopic dermatitis.	安 陽	小児科
106	Brain Dev	Selective pontine hypoplasia: A possible common feature in 5p monosomy syndrome.	加藤 善一郎	小児科
107	J Inherit Metab Dis	Validation of keratan sulfate level in mucopolysaccharidosis type IVA by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.	戸松 俊治	小児科
108	Int J Syst Evol Microbiol.	Mycobacterium shinjukuense sp. nov.; a slowly growing, nonchromogenic species isolated from human clinical specimens.	Ezaki T, 2010	病原体制御
109	Jpn Soc. Cult. Collect	Genetic relatedness and identification of clinical strains of genus Campylobacter based on dnaJ, 16S rDNA and rpoB gene sequences.	Ezaki. T2011	病原体制御

110	<i>Diagnostic Microbiology & Infectious diseases</i>	DnaJ sequences of <i>Bacillus cereus</i> strains isolated from outbreaks of hospital infection are highly similar to <i>Bacillus anthracis</i> .	Ezaki. T2011	病原体制御
111	<i>Eur J Dermatol</i>	Buruli ulcer caused by "Mycobacterium ulcerans subsp. shinshuense".	Ezaki. T2011	病原体制御
112	<i>FEMS Microbiol Lett.</i>	<i>Streptococcus fryi</i> sp. nov., a novel species with Lancefield group M antigens.	Ezaki. T2011	病原体制御
113	バイオセーフティ指針(著書)	病原微生物のバイオセーフティ分類.	江崎孝行 2010	病原体制御
114	<i>J Gastroenterol Hepatol</i> 2010;25:858-863.	Hepatic encephalopathy as a complication of liver cirrhosis: an Asian perspective.	Moriwaki H 他3名	消化器病態学
115	<i>J Gastroenterol</i> 2010;45:285-290.	Clinical trial: rebamipide promotes gastric ulcer healing by proton pump inhibitor after endoscopic submucosal dissection—a randomized controlled study.	Kato T 他7名	消化器病態学
116	<i>J Immunol</i> 2010;185:4554-4560.	Ability of IDO to attenuate liver injury in alpha-galactosylceramide-induced hepatitis model.	Ito H 他10名	消化器病態学
117	<i>Intern Med</i> 2010;49:2253-2257.	Long-term survival of a patient with splenic angiosarcoma after resection, high-dose chemotherapy, and autologous peripheral blood stem cell transplantation.	Hara T 他12名	消化器病態学
118	<i>Chem Biol Interact</i> 2010; 185: 247-252.	(-)-Epigallocatechin gallate inhibits growth and activation of the VEGF/VEGFR axis in human colorectal cancer cells.	Shimizu M 他8名	消化器病態学
119	<i>Oncol Rep</i> 2010;23:1709-1714.	HSP90 inhibitors induce down-regulation of EGF receptor via p38 MAPK-mediated phosphorylation at Ser1046/7 in human pancreatic cancer cells.	Adachi S 他5名	消化器病態学
120	<i>Hepatology</i> 2010;51:237-245.	Role of acid sphingomyelinase of Kupffer cells in cholestatic liver injury in mice.	Osawa Y 他7名	消化器病態学
121	<i>Nutrition</i> 2010;26:269-275.	Elevated serum tumor necrosis factor-alpha and soluble tumor necrosis factor receptors correlate with aberrant energy metabolism in liver cirrhosis.	Shiraki M 他7名	消化器病態学
122	<i>Eur J Haematol</i> 2010;84:304-309.	Serum concentration of L-kynurenine predicts the clinical outcome of patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with R-CHOP.	Yoshikawa T 他13名	消化器病態学
123	<i>Am J Hematol</i> 2010;85:872-876.	Efficacy and safety of micafungin for treating febrile neutropenia in hematological malignancies.	Goto N 他11名	消化器病態学
124	<i>Cancer Sci</i> 2010; 101: 1701-1707.	Pitavastatin inhibits azoxymethane-induced colonic preneoplastic lesions in C57BL/KsJ-db/db obese mice.	Yasuda Y 他9名	消化器病態学
125	<i>Cancer Sci</i> 2010; 101: 460-467.	Dietary supplementation with branched-chain amino acids suppresses diethylnitrosamine-induced liver tumorigenesis in obese and diabetic C57BL/KsJ-db/db mice.	Iwasa J 他9名	消化器病態学
126	<i>Hepatol Res</i> 2010;40:376-382.	Insulin resistance raises the risk for recurrence of stage I hepatocellular carcinoma after curative radiofrequency ablation in HCV-positive patients: A prospective, case-series study.	Imai K 他11名	消化器病態学
127	<i>Endoscopy</i> 2010 ; 42:441-447.	"Transmural air leak": a computed tomographic finding following endoscopic submucosal dissection of gastric tumors.	Onogi F 他6名	消化器病態学
128	<i>Chem Biol Interact</i> 2010; 184: 423-430.	Genetic ablation of Tnfalpha demonstrates no detectable suppressive effect on inflammation-related mouse colon tumorigenesis.	Sakai H 他5名	消化器病態学
129	<i>Int J Oncol</i> 2010;36:585-592.	Rho-kinase regulates negatively the epidermal growth factor-stimulated colon cancer cell proliferation.	Nakashima M 他5名	消化器病態学
130	<i>J Clin Exp Hematop</i> 2010;50:71-74.	IgG Type Multiple Myeloma and Concurrent IgA Type Monoclonal Gammopathy of Undetermined Significance Complicated by Necrotizing Skin Ulcers due to Type I Cryoglobulinemia.	Ninomiya S 他7名	消化器病態学

131	Hepato Res 2010;40:1-7.	The Study Group for the Standardization of Treatment of Viral Hepatitis Including Cirrhosis, Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan. Guidelines for the treatment of chronic hepatitis and cirrhosis due to hepatitis B virus infection for the fiscal year 2008 in Japan.	Kumada H 他16名	消化器病態学
132	Hepato Res 2010;40:8-13.	The Study Group for the Standardization of Treatment of Viral Hepatitis Including Cirrhosis, Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. Guidelines for the treatment of chronic hepatitis and cirrhosis due to hepatitis C virus infection for the fiscal year 2008 in Japan.	Kumada H 他16名	消化器病態学
133	Lab Invest 2010;90:52-60.	Acyclic retinoid inhibits angiogenesis by suppressing the MAPK pathway.	Komi Y 他6名	消化器病態学
134	J Clin Microbiol 2009; 47: 3391-3393.	First report of acute cholecystitis with sepsis caused by cellulomonas denverensis.	Ohtaki H 他10名	消化器病態学
135	Journal of Oral Pathology and Medicine 2010;39:407-419.	Oral complaints and stimulated salivary flow rate in 1188 adults.	Toida M	口腔病態学分野
136	Journal of Dental Research 2010;89:773-778.	Dental pulp cells for induced pluripotent stem cell banking.	Tamaoki N	口腔病態学分野
137	Archives of Oral Biology 2010;55:648-654.	Hypoxia enhances colony formation and proliferation but inhibits differentiation of human dental pulp cells.	Iida K	口腔病態学分野
138	Europace	Should T-wave alternans magnitude be corrected with T-wave amplitude in the ultra-short-term prediction of life-threatening cardiac arrhythmias?	高杉信寛	第二内科
139	Europace	Relationship between T-wave alternans magnitude and T-wave amplitude before the onset of ventricular tachyarrhythmias during emergent reperfusion in acute coronary syndrome patients	高杉信寛	第二内科
140	Cerebrovasc Dis.	Prediction of silent ischemic lesions after carotid artery stenting using virtual histology intravascular ultrasound	山田清文	脳神経外科
141	Clin Exp Pharmacol Physiol.	Cilostazol protects the heart against ischemia reperfusion injury in a rabbit model of myocardial infarction: Focus on adenosine, nitric oxide and mitochondrial KATP channels	白玉山	第二内科
142	JACC Cardiovasc Imaging.	OCT of human carotid arterial plaques	吉村紳一	脳神経外科
143	Br J Pharmacol.	Both stimulation of GLP-1 receptors and inhibition of glycogenolysis additively contribute to a protective effect of oral miglitol against ischaemia-reperfusion injury in rabbits	岩佐将充	第二内科
144	Am J Physiol Heart Circ Physiol.	Autophagy limits acute myocardial infarction induced by permanent coronary artery occlusion	金森寛充	第二内科
145	Cardiovasc Res.	The role of autophagy emerging in postinfarction cardiac remodelling	金森寛充	第二内科
146	Circ J.	Granulocyte colony stimulating factor, peripheral blood stem cells and bone marrow stem cells and bone marrow stem cells for cardiac repair after myocardial infarction	湊口信也	第二内科
147	Europace	Continuous T-wave alternans monitoring to predict impending life-threatening cardiac arrhythmias during emergent coronary reperfusion therapy in patients with acute coronary syndrome	高杉信寛	第二内科
148	Atherosclerosis	Embolic complications after carotid artery stenting or carotid endarterectomy are associated with tissue characteristics of carotid plaques evaluated by magnetic resonance	山田清文	脳神経外科

149	Blood Press.	Effects of candesartan versus amlodipine on home-measured blood pressure, QT dispersion and left ventricular hypertrophy in high-risk hypertensive patients	松野康成	第二内科
150	J Cardiovasc Pharmacol.	Treatment of leg ischemia with biodegradable gelatin hydrogel microspheres incorporating granulocyte colony-stimulating factor	川村一太	第二内科
151	Nihon Rinsho.	The effect of ARB on prevention of atherosclerosis	青山琢磨	第二内科
152	Europace	Should T-wave alternans magnitude be corrected with T-wave amplitude in the ultra-short-term prediction of life-threatening cardiac arrhythmias?	高杉信寛	第二内科
153	Europace	Relationship between T-wave alternans magnitude and T-wave amplitude before the onset of ventricular tachyarrhythmias during emergent reperfusion in acute coronary	高杉信寛	第二内科
154	Cerebrovasc Dis.	Prediction of silent ischemic lesions after carotid artery stenting using virtual histology intravascular ultrasound	山田清文	脳神経外科
155	Clin Exp Pharmacol Physiol.	Cilostazol protects the heart against ischemia reperfusion injury in a rabbit model of myocardial infarction: Focus on adenosine, nitric oxide and mitochondrial KATP channels	白玉山	第二内科
156	JACC Cardiovasc Imaging.	OCT of human carotid arterial plaques	吉村紳一	脳神経外科
157	Br J Pharmacol.	Both stimulation of GLP-1 receptors and inhibition of glycogenolysis additively contribute to a protective effect of oral miglitol against ischaemia-reperfusion injury in rabbits	岩佐将充	第二内科
158	Am J Physiol Heart Circ Physiol.	Autophagy limits acute myocardial infarction induced by permanent coronary artery occlusion	金森寛充	第二内科
159	Cardiovasc Res.	The role of autophagy emerging in postinfarction cardiac remodelling	金森寛充	第二内科
160	Circ J.	Granulocyte colony stimulating factor, peripheral blood stem cells and bone marrow stem cells and bone marrow stem cells for cardiac repair after myocardial infarction	湊口信也	第二内科
161	Europace	Continuous T-wave alternans monitoring to predict impending life-threatening cardiac arrhythmias during emergent coronary reperfusion therapy in patients with acute coronary syndrome	高杉信寛	第二内科
162	Atherosclerosis	Embolic complications after carotid artery stenting or carotid endarterectomy are associated with tissue characteristics of carotid plaques evaluated by magnetic resonance	山田清文	脳神経外科
163	Blood Press.	Effects of candesartan versus amlodipine on home-measured blood pressure, QT dispersion and left ventricular hypertrophy in high-risk hypertensive patients	松野康成	第二内科
164	J Cardiovasc Pharmacol.	Treatment of leg ischemia with biodegradable gelatin hydrogel microspheres incorporating granulocyte colony-stimulating factor	川村一太	第二内科
165	Nihon Rinsho.	The effect of ARB on prevention of atherosclerosis	青山琢磨	第二内科
166	J Stroke Cerebrovasc Dis.	Elevated Anti-Heat Shock Protein 60 Antibody Titer is Related to White Matter Hyperintensities.	Kimura A	神経内科・老年内科
167	Neurology	No relapse of neuromyelitis optica during drug-induced B-lymphopenia with hypogammaglobulinemia.	Tanaka Y	神経内科・老年内科

168	J Neurol.	Is there a delayed gastric emptying of patients with early-stage, untreated Parkinson's disease? : An analysis using the ¹³ C-acetate breath test.	Tanaka Y	神経内科・老年内科
169	Case Rep Neurol.	High levels of copper, zinc, iron and magnesium but not calcium, in the CSF of patients with 'Fahr' s disease'.	Hozumi I	神経内科・老年内科
170	Neurology.	Antibodies in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Kimura A	神経内科・老年内科
171	J Neurol.	Motor-dominant chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Kimura A	神経内科・老年内科
172	J Neuroimmunol.	High prevalence of autoantibodies against phosphoglycerate mutase 1 in patients with autoimmune central nervous system diseases.	Kimura A	神経内科・老年内科
173	Intern Med.	Serial monitoring of basal metabolic rate for therapeutic evaluation in an Isaacs' syndrome patient with chronic fluctuating symptoms.	Hayashi Y	神経内科・老年内科
174	Intern Med.	Markedly ring-enhanced optic nerves due to metastasis of signet-ring cell gastric carcinoma.	Hayashi Y	神経内科・老年内科
175	J Neuroimmunol.	Identification of antibodies as biological markers in serum from multiple sclerosis patients by immunoproteomic approach.	Sakurai T	神経内科・老年内科
176	The journal of Immunology	The absence of IDO upregulates type I IFNs production, resulting in suppression of viral replication in retrovirus-infected mouse	M Hoshi	検査部
177	Hepatology	Role of acid sphingomyelinase of Kupffer cells in cholestatic liver injury in mice.	Y Osawa	病態情報解析医学
178	Allergol Int	Lipocalin-type prostaglandin D synthase and egg white cystatin react with IgE antibodies from children with egg allergy.	M Suzuki	病態情報解析医学
179	J Immunol	Ability of IDO to attenuate liver injury in alpha-galactosylceramide induced hepatitis model.	H Ito	病態情報解析医学
180	FASEB J	Acid sphingomyelinase regulates glucose and lipid metabolism in hepatocytes through AKT activation and AMP-actibated protein kinase	Y Osawa	病態情報解析医学
181	Inflamation and Regeneration	Role of tumor necrosis factor- α in acute hepatitis B virus infection	H Ito	病態情報解析医学
182	J Biomed Biotechnol	Regulation of the induction and function of cytotoxic T lymphocytes by natural killer T cell.	H Ito	病態情報解析医学
183	医学検査	早期CKDにおける尿沈渣成分と生化学成分の関連性	小林沙織	検査部
184	Jpn J Radiol	Magnetic resonance imaging findings of fibroepithelial polyp of the vulva: radiological-pathological correlation.	Kato H	放射線科
185	J Magn Reson Imaging	Renal cell carcinoma associated with Xp11.2 translocation/TFE3 gene fusion:	Kato H	放射線科
186	Eur J Radiol	Aortic and hepatic enhancement at multidetector CT:Evaluation of optimal iodine dose determined by lean body weight	Kondo H	放射線科
187	Int J Radiat Oncol Biol Phys	Impact of [(11)C]Methionine Positron Emission Tomography for Target Definition of Glioblastoma Multiforme in Radiation Therapy Planning.	Matsuo M	放射線科
188	AJR	Improvement of image quality of low radiation dose abdominal CT by increasing contrast	Watanabe H	放射線科
189	AJR	Hepatic hemangioma and metastasis: differentiation with gadoxetate disodium-enhanced 3-T MRI.	Goshima S	放射線科

190	Eur J Radiol	Abdominal vascular and visceral parenchymal contrast enhancement in MDCT: Effects of injection duration.	Tsuge Y	放射線科
191	Bone Miner Metab	Analysis of bone mineral density distribution at trabecular bones in thoracic and lumbar vertebrae using X-ray CT images	Hayashi T	放射線科
192	Eur Radiol	MR elastography of the liver at 3 T with cine-tagging and bending energy analysis: preliminary results	Watanabe H	放射線科
193	J Magn Reson Imaging	"Flow-void" sign at MR imaging: A rare finding of	Kato H	放射線科
194	Radiology	Dose for Aortic and Hepatic Enhancement at Multidetector CT: Comparison of Total Body Weight, Lean Body Weight, and Blood Volume.	Kondo H	放射線科

小計5
合計194

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岩間 亨
管理担当者氏名	事務部長 倉坪弘一, 総務課長 臼井 清, 医療サービス課長 伊藤文雄, 経営企画課長 養島博徳, 管理課長 加藤三一, 放射線部長 兼松雅之, 高次救命治療センター長 小倉真治, 薬剤部長 伊藤善規, 看護部長 五島 光子, 生体支援センター長 村上啓雄

	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書	医療サービス課, 経営企画課, 各診療科, 放射線部, 手術部, 薬剤部, 看護部	カルテは、患者ごとに、1カルテを作成し、診療記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、診療経過の要約と共に電子媒体で保存管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	研究支援係(医学系研究科・医学部事務)	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課 医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	生体支援センター
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	生体支援センター	
	院内感染のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	生体支援センター	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	生体支援センター	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理室 医療サービス課	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室 医療サービス課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室 医療サービス課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室 医療サービス課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 倉坪弘一
閲覧担当者氏名	医療サービス課 医療連携係長 井深和子
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課 医療連携センター相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	75.5%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	10,693人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,821人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,272人	
	D : 初診の患者の数	19,033人	

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 <input type="checkbox"/> 医療に係る安全管理の委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 <input type="checkbox"/> 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項 <input type="checkbox"/> 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保をの目的とした改善に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 医療事故(過誤), 重大事象発生時の対応に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 行動制限防止のための指針 <input type="checkbox"/> 患者に係る当該指針の閲覧に関する基本方針 <input type="checkbox"/> その他医療安全の推進のための基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 14 回
・活動の主な内容 「医療安全管理委員会」 <input type="checkbox"/> インシデントレポート分析, 防止(改善)策に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故防止対策の検討及び推進に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故防止対策に関する職員研修の企画に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 18 回
・研修の主な内容 <input type="checkbox"/> 第1回医療安全研修会「薬剤耐性菌等の検出状況と感染対策」「医療ガスの取り扱い」外 <input type="checkbox"/> 第2回医療安全研修会「麻薬の安全管理」「職員の身だしなみについて」外 (第1回医療安全研修会は連日5日間と追加の1日を同じ内容で実施。第2回も同様の実施であって、合計12日間の研修である。) <input type="checkbox"/> 輸液ポンプ, シリンジポンプ研修会(院内インストラクター・テルモ社員 外) <input type="checkbox"/> 人工呼吸器管理研修会(呼吸療法チームメンバー 外) <input type="checkbox"/> 放射線部救急蘇生法研修(2回) <input type="checkbox"/> 新採用・中途採用職員研修(研修医・医師・看護師・技師など)(10回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 <input type="checkbox"/> 医薬品の安全管理体制の整備(薬事委員会・倫理委員会で院内製剤を協議) <input type="checkbox"/> 部署における麻薬・向精神薬の取り扱い方法の見直し。 <input type="checkbox"/> 放射線部CT検査室等での酸素供給システムの改善。(色付酸素チューブの採用) <input type="checkbox"/> せん妄ケアのシステム構築(看護基準の作成) <input type="checkbox"/> 高気圧酸素療法室の運用見直し	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(4名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員: 専任(2)名 兼任(9)名 (安全管理) ・所属職員: 専任(1)名 兼任(13)名 (院内感染対策) ・活動の主な内容 <input type="checkbox"/> 医療安全に係る啓蒙及び広報に関すること <input type="checkbox"/> 医療の安全確保のため, 医療現場との連絡調整に関すること <input type="checkbox"/> 医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること <input type="checkbox"/> インシデントに関する情報の収集及び分析, 関係資料作成に関すること <input type="checkbox"/> 医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること <input type="checkbox"/> 微生物の検出状況の把握, 分析およびアウトブレイクの早期発見と対応 <input type="checkbox"/> 感染症、感染対策全般のコンサルテーション <input type="checkbox"/> 抗菌薬の適正使用の推進 <input type="checkbox"/> ガイドライン・マニュアルの作成や改訂 <input type="checkbox"/> 感染防止対策の周知徹底; マニュアルの遵守状況の把握と指導 <input type="checkbox"/> 針刺し・切創および皮膚・粘膜暴露対応 <input type="checkbox"/> 各種ワクチンプログラムの実施 <input type="checkbox"/> 職員教育; 研修の企画および実施	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 <input type="checkbox"/> 病院感染対策に関する基本的な考え方 <input type="checkbox"/> 病院感染対策の組織 <input type="checkbox"/> 職員教育・研修に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 感染症発生状況の報告に関する基本方針 <input type="checkbox"/> 病院感染発生時の対応に関する基本指針 <input type="checkbox"/> 患者への情報提供と説明 <input type="checkbox"/> 病院における院内感染対策の推進	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 14 回
・活動の主な内容 <input type="checkbox"/> 病院感染の発生状況、抗菌薬の使用状況について <input type="checkbox"/> 病院感染対策の検討および推進に関すること <input type="checkbox"/> 病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること <input type="checkbox"/> 病院感染対策に係る啓蒙及び広報に関すること <input type="checkbox"/> 病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 23 回
・研修の主な内容 1) 生体支援センターセミナー(全職員対象) <input type="checkbox"/> 抗菌薬の適正使用について:生体支援センターICT支援メンバー 吉田省造 <input type="checkbox"/> 感染対策上の病院機能評価を受ける際の準備について:生体支援センター感染対策専任看護師長 深尾亜由美 <input type="checkbox"/> 微生物の特徴を知ろう:生体支援センターICT支援メンバー嫌気性菌研究分野 田中香お里 <input type="checkbox"/> 検体採取の注意点・検査結果の見方:生体支援センターICT支援メンバー検査部 太田浩敏 <input type="checkbox"/> 手術部位感染対策について:生体支援センター感染制御部門医師 腫瘍外科 徳山泰治 <input type="checkbox"/> 周術期の栄養管理について:生体支援センターNST支援メンバー 消化器外科:田中善宏 2) 医療安全・感染対策合同研修会 <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物の処理費用と経費削減に向けての取り組み(5回):生体支援センター感染対策専任看護師長 深尾亜由美 薬剤耐性菌などの検出状況と感染対策について:生体支援センターセンター長 村上啓雄 <input type="checkbox"/> 職員の身だしなみについて(5回):病院長 岩間亨、生体支援センターセンター長 村上啓雄、深尾亜由美 3) 新入職員研修(全新入職員対象) <input type="checkbox"/> 病院感染対策の基本:生体支援センター村上啓雄、深尾亜由美 <input type="checkbox"/> 技術研修(3日) 4) 看護師研修(全看護師対象) <input type="checkbox"/> 尿道留置カテーテル関連尿路感染の感染対策:生体支援センター深尾亜由美 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器関連肺炎の感染対策:生体支援センター深尾亜由美 <input type="checkbox"/> 中心静脈カテーテル関連血流感染の感染対策:生体支援センター深尾亜由美 5) 看護師研修(リーダー看護師対象) <input type="checkbox"/> 「感染管理コース」(7時間×2回):生体支援センター深尾亜由美 6) 看護師研修(管理者対象) <input type="checkbox"/> 管理者に必要な感染対策について:生体支援センター深尾亜由美 7) 看護助手研修 <input type="checkbox"/> 病院感染対策の基本:生体支援センター深尾亜由美 8) 外部委託業者研修 <input type="checkbox"/> 医療関連感染における環境からの伝播の可能性と環境対策:生体支援センター深尾亜由美 9) 中途採用者研修 <input type="checkbox"/> 病院感染対策の基本(5回):生体支援センター村上啓雄、深尾亜由美 10) ボランティア研修 <input type="checkbox"/> 病院感染対策の基本について:西8階病棟副看護師長 感染管理認定看護師 土屋麻由美	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 感染症管理システムによるサーベイランス <input type="checkbox"/> 各種会議(医局長等会議、科長会、院内感染対策専門委員会等)での報告 ・その他の改善のための方策の主な内容 <input type="checkbox"/> 感染防止推進月間の実施(院内ラウンド、自己チェック) <input type="checkbox"/> 抗菌薬の適正使用のための薬剤師による抗菌薬投与患者の評価および介入 <input type="checkbox"/> 手指衛生遵守向上に関する取り組み(速乾性擦式消毒剤の使用量のモニタリング等) <input type="checkbox"/> アウトブレイクが疑われた場合は、各部署へ情報提供及び指導の徹底	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 平成22年4月7日 新規採用者研修 平成23年1月17日-21日 医療安全感染対策研修会	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 業務手順書は電子カルテのオンラインマニュアル上に掲載し、常に業務手順が確認できるようにしている。また、必要に応じて随時改訂を行っており、平成21年12月1日および平成22年8月1日に実施した。さらに、業務手順書に準拠したチェックリストを作成し、年2回(1月, 6月)院内全部署を対象として業務の実施状況を評価している。業務手順書が遵守遵守できていない業務が認められれば、業務の見直し、改善を行っている。	年 2 回
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 厚生労働省、医薬品メーカ、インターネット(医薬品医療機器総合機構等)を介して、常に最新の医薬品情報を入手している。また、収集した情報を吟味および加工して院内の職員に対して情報(DIニュース等)を配信している。さらに、病棟担当薬剤師が医師や看護師といった病棟スタッフに対して直接情報提供を行っている。その他に、院内で発生したアクシデント、インシデント、ヒヤリハットなどの報告に基づいて医療安全マニュアルや業務手順書等の院内マニュアルの改訂を行っている。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 30 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>○医療ガスの安全使用について</p> <p>○除細動器、AED</p> <p>○輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い方法について(新採用者対象)</p> <p>○新規購入医療機器(19回)</p> <p>○保育器</p> <p>○人工呼吸器(2回)</p> <p>○放射線機器</p> <p>○血液浄化機器(2回)</p> <p>○高エネルギー放射線発生装置(2回)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・保守点検の主な内容</p> <p>○人工呼吸器、人工心肺装置、除細動装置、十二誘導心電計、血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザーは使用毎の保守点検を医療機器センターで実施</p> <p>○血液浄化部の多人数用血液透析装置は2年に1度業者による点検実施</p> <p>○放射線装置は期限毎に業者と保守点検の契約を結び実施(機器により、半年から2年毎)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○人工呼吸器について…医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを週2回実施</p> <p>呼吸療法支援チームの活動として、病棟の人工呼吸器管理患者のラウンドを週2回実施</p> <p>会議では、人工呼吸器関連のインシデント報告や情報を検討し院内に周知</p> <p>○医療機器安全管理組織の編成</p> <p>○ディスプレイ製品のリユース制限</p>	